

ユーモアスピーチ船橋

2026 (R8) 年 10 月 8 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

237 回船橋ユーモアスピーチ

2026 年 10 月 8 日 (木)

3 分間スピーチテーマ

「行列」「ふるさと」

「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ 町田 雅和さん (30 分)

「マジックアワー」

9 月 10 日の参加者：中久木、松本、藤原 (澄)、山中、小畑、岩瀬、後藤、山本、工藤、原田、佐々木、佐藤(フ)、長井、飯野、岩寺、町田、長嶋 17 名

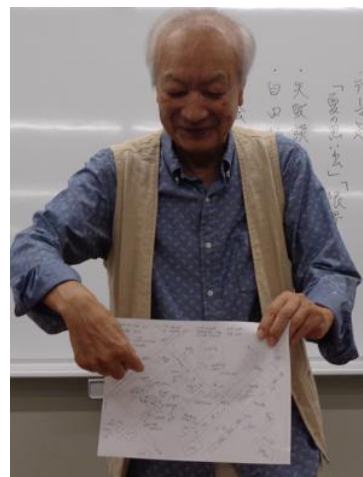
ロングスピーチ (9 月 10 日)

主催：NPO シニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部
支 部 長：長嶋秀治 043-261-5832
発 行 者：長嶋秀治
編集&事務局：町田雅和
モバイル 090-6186-9916
mac2026new@ybb.ne.jp
参加費 500 円
見学科 1 回無料
開催日と場所 (原則)
毎月第②木曜日 14:00~16:30
会場 船橋市勤労市民センター
2 階 第 2 講習室 部屋は変更有

工藤 文夫

「田中角栄と神楽坂」

私は、昭和 23 年 10 月仙台市で生まれ、僅か 3 ヶ月で、今日お話しする、牛込神楽坂の先の新宿区中町に、1 月から 18 年間、住むことになりました。実質、田舎生まれから、一気にシティ・ボーイに？ともかくにも、ご近所にあの「田中角栄」を含めた、大物、政治家が夜、酒を飲みながら日本の重要な事柄を、国会や目白の大邸宅は形だけで、自宅から 200m 先で決めていたなんて、大変感慨深いことだと、勝手に思っています。それと、なかなか有名人に会うことはないですが、さすが神楽坂だけに、いろんな人がご近所さんだったんですね。



3 分間スピーチダイジェスト

テーマ「夏の思い出」、「限界」

山本 成夫:「言葉を変える」

ある在宅緩和ケア医が「棺桶まで歩こう」という本を出した。「棺桶」という言葉に戸惑うが、生きていればいつかは死ぬ。誰も棺桶は避けられない。「死」を考えることは、「生きる」ことを考えることになる。重要なのは本人自身がどう生きたいか、どう最期を迎えたいかを考えること。

私だったら理想は、いい在宅緩和医のもと幸せな治療を受け、食べられなくなったら、最期は不必要な投薬、処置をせず、平穏死(草木が自然に枯れるごとく)、穏やかな最期を迎えたい。どこまで在宅で出来るかですが。

死ぬまで棺桶まで元気で歩こうよという趣旨はよく分かる。でも「棺桶」では暗すぎる。親しい人に語りかけるなら、みんな「やすらぎの家」まで歩こうよと言いたい。

岩瀬緑朗:「夏の思い出」8 月 10 日の外来診察のその後の報告」

『8 月 13 日のユーモアスピーチ』では 8 月 10 日の外来診察において

・薬が効果を出しており心臓部の動きが良くなっているようで、血栓も大分小さくなっている。
・退院前日 7 月 30 日の造影 CT 検査の結果対象血管が詰まり切っていたと思われていた血管がいくつかの血の流れ確認できた。その結果担当医師からカテーテル検査とその結果カテーテル治療を 3 泊 4 日(カテーテル治療をした場合)の入院で対応したい旨話しがありました。その結果 9 月 1 日～4 日までの 3 泊 4 日でカテーテル検査を行い、その結果カテーテル治療を行いました。カテーテル治療が終わり、病室に戻ると担当医師が『カテーテル治療前の検査の血管』の写真と『治療後(冠動脈ステント)の血管』の写真を見ると明らかに広がり血液の流れが確認できました。

担当医は順調との一声にホッと致し、予定通り治療の 2 日後に退院できました。

カテーテル挿入口の周りに内出血のアザがありましたが、そのアザも大分薄くなってきております。

「定期検診で心電図に異常からカテーテル治療」が全てで命拾いをした『夏の思い出』でした。

長井 みどり:「兄嫁」

私の兄が亡くなって丸 3 年、兄嫁は一人で仏壇とお墓を守っています、腰を骨折、肩を骨折など、踏んだり蹴ったりの 3 年間でしたが健気に生きています。

藤原 澄子:「佐治薫子(さじしげこ)先生の卒寿記念・演奏会」

令和 8 年 8 月 30 日市川文化会館大ホールでウインドミルオーケストラ第 52 回定期演奏会が行われました。

団員の皆さんは佐治先生の「音楽ってこんなに面白い」と、子供の頃に影響を受けた方々です。

佐治先生は君津市立松岡中学校でリード合奏の指導に情熱を傾け同校を 5 回も全国優勝に導きます。

オーケストラの指導で船橋市立前原小学校、習志野市立谷津小学校、市川市立鬼高小学校と、赴任する先々で全国優勝を成し遂げ、[佐治マジック][優勝請負人]などと高い評価を受けます。

1996 年定年退職後、千葉県知事に頼まれ千葉県少年少女合掌団に就任し現在に至ります。先生の 90 歳の「卒寿のお祝い」の場でも、感無量な気持な気持ちでオーケストラの指揮を振っていただきました。

佐治先生だけに「さじを投げなかった」ですね。(笑い)

信じる心が運命の扉を開く、出逢いが運命を変える。わが娘も鬼高小学校卒です。今はフルートで仕事をさせて頂いています。

感謝 藤原澄子拝

佐々木 由美子:「限界」

バーミアンで一杯の後、中久木さんと暴風雨に耐え駅に辿り着き、お互いの無事を案じながら別れた。電車は私の下車する大和田駅でストップ。雷が怖くてホームで二時間待機。それからが脅威!! いつもの通りは胸まで浸かりそうな濁流となり恐怖に慄く。

【川を渡る基準は水位が膝までを限界する。それを越えたら流される】プールで鍛えてはいるが…それは無理というかあり得ない。30分かけて別ルートで帰った。(通常13分)

工藤 文夫「我が家の家電製品の限界」

ひと頃に比べると、日本の家電は、限界(寿命)が短くなってきていますね。原因は、販売元は、有名メーカーでも、実際に製造しているのは、中国か、東南アジア諸国が原因と修理に来た方が、話していました。我が家で一番買い替えが多いのは、スムージー野菜ジュースを作る、ミキサーですかね。アマゾンで最安値品を10台近くは、交換していると思われます。さすがに、反省して、ドイツのブラウンにして、何とか1年以上故障せずに継続しています。Give up したのが、ふろ用TVで、10年で8台、買い替えたのですが、さすがに購入中止となりました。未だに元気なのが、40年近く前に購入した、電気カミソリ。確か1980円だったと思います。私よりも長生きしそうです。

町田 雅和:「夏の思い出」

皆さんも前回のユーモアスピーチの後、記録的な大雨の中、大変な思いをして帰宅された事と思いますが、私は蘇我駅で一泊するはめになりました。蘇我駅の構内は停電もせず、コンビニもトイレもあるので不安はありませんでしたが、駅で一泊した体験から、自分の居場所を確保する際のアドバイスを3つほどお伝えします。

- 1、通路が2か所ある時は、トイレの無い通路側がお勧めです。女性用トイレの近くは長い行列ができるため
- 2、しゃがんで寄りかけられる場所を確保すること、最初は立っていてもそのうちにしゃがむことになる。時間の経過とともに、二重三重にしゃがむので、寄りかけられないとつらい
- 3、早い段階で、隣に座った人と会話する。トイレに行く際などの場所の確保に役立つ

後藤 文男:「初めてAIを使ってポスター作成」

私は毎朝近隣の神社でラジオ体操をしている。先日、仲間が体操終了後にすぐに解散しないで、たまにはお茶したいとの要望があった。即採用、私がそのポスターを作成することになった。普段ならネットから関連する用語を検索し編集するが、時間がかかる。そこで、今回は、初めてAIを使用し、下記の言葉を入力した

- 1 ラジオ体操終了後お茶会にいきいたい、2 雷門前のデニース、3 参加者は老齢の男女、4 次回は9/5(土)

上記を音声入力して数秒後ポスターができた。驚いた、完璧なポスターであった。AIは便利であるが危険な要素も含んでいるので使い方には要注意である。

飯野 望:「限界」

人間の限界は100メートルで10秒

42.195キロで2時間位と言われてます。

言葉も色々限界があり、その1つに

早口言葉があります。限界に挑戦したニュースです。

今日未明火星探査車が暖かく迎え入れられ老若男女を代表し栃乃洋が出場…

万景峰号では手術中…文殊に入ったか

長嶋 秀治:「夏の思い出」

先月の例会の日、8月13日は後日令和8年8月千葉豪雨と名付けられました。当日いつもは参加する二次会に私は参加しませんでした。旧暦のお盆でお墓に先祖を迎えに行く日でしたから。長靴を履いて行くくらいの大雨でした。線状降水帯の影響で夜から半日の雨量が平年8月の3倍の雨量だったと。いろいろと事故も報道されました。帰宅困難、床上、床下浸水、自動車水没等々。我が家でも13日夜から1日停電になってしまいました。でも停電くらいで済んだのはラッキーだったとも思っています。とんだ夏の思い出です。

小畑 勝彦:「限界」

私のメモリーには「限界」と言う言葉は見つかりませんでした。いつも「どうにかなるさ」と過ぎてきたような気がします。敢えて「もしかしたら・・・？」と思うことは自動車の運転です。ある時期から、眼の衰えのせいか視野が狭くなり、注意力散漫となり、特にバックでの車庫入れ、幅寄せなどは、何度もハンドルを切り返す始末です。そこで極力助手席に同乗して貰い、暗くなったら運転をしないなどで凌いでいましたが、世の中的には運転免許書の返納が話題になっており、人身事故でも起こしたら大変、家族に言われる前にと・・・これが、限界に当たるかもしれません。

松本 健一:「おわら風の盆」

10 年位前ですかね 有楽町の交通会館地下に富山県のアナテナショップがあり、ここでビデオを流しておりまして、踊りに三味線と胡弓の音色これが何とも言えない余情があり、幽玄の調べ・・・これが脳裏に浮かびます。で、この 1 月に新聞でツアーを見つけて、予約しておきました

それが越中八尾の「おわら風の盆」300 年の歴史があるとのこと、先週の 9 月 1～3 日間 30 万人の観光客に交じり夕食は何と 3 時半に済ませて・・・普通の町と言うより村ですね 踊りは 25 歳以下で卒業したら歌や楽器へ 皆さん、まだでしたら・・・1 度は(ここで曲を流しながら終わる)

山中 昇:「自由題」

81 歳の人から聞いた「81 歳と 18 歳の違い」を披露しました

次回予告： 「船橋ユーモアスピーチの会」

11 月 12 日 (木) 14 時 00 分～ 船橋勤労市民センター2 階 第 2 講習室
ロングスピーチ 山中 昇さん

「クルーズ 19 寄港地の中でハイライト」(30 分)

スピーチテーマ 「感動」、「わがまま」
「自由題」、「失敗談」

※スピーチダイジェストの送付先のお願い

期間 : ユーモアスピーチの会終了後、2 週間以内を目途に

文字数 : ロングスピーチは 700～1000 文字程度

3 分スピーチは 200～300 文字程度

送付形式 : Word 文書で送付願います

送付先 : 町田 mac2026new@ybb.ne.jp

会場は勤労市民センターです、部屋は毎回変わります、1 階の案内表示を確認して下さい。開始は 14 時です。